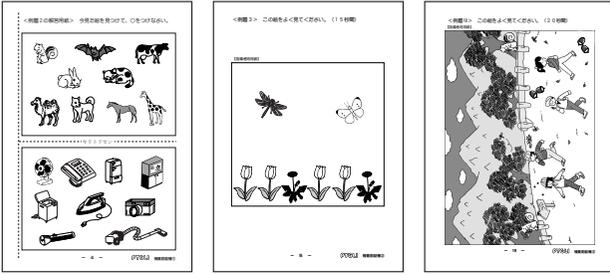
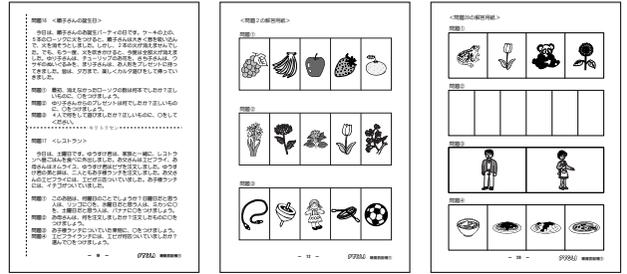


29・30 視覚的記憶①②



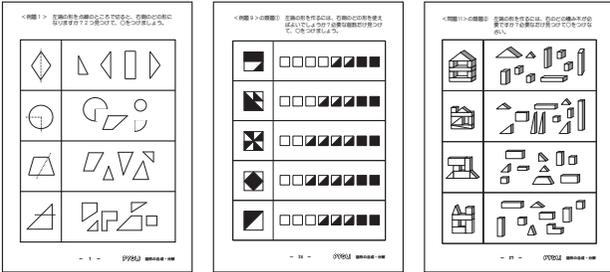
視覚的記憶の問題は、入試でよく出題されますが、その理由として記憶力・注意力・知識・構成把握能力など、非常に幅の広い範囲の能力をテストできるからです。視覚的記憶の問題はこれら全ての能力育成に効果を発揮します。

31・32 聴覚的記憶①②



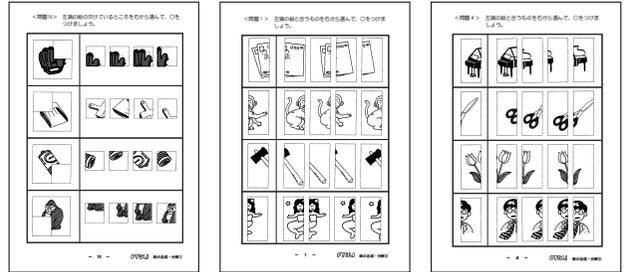
問題を聞いてそれを記憶し解答します。聴覚的記憶とはただの記憶ではありません。話を聞きながら、その話の内容がイメージできるように、たとえば映画のワンシーンが脳裏に浮かぶような言語能力こそが、本当の聴覚的記憶と言えるのです。

33 図形の合成・分解



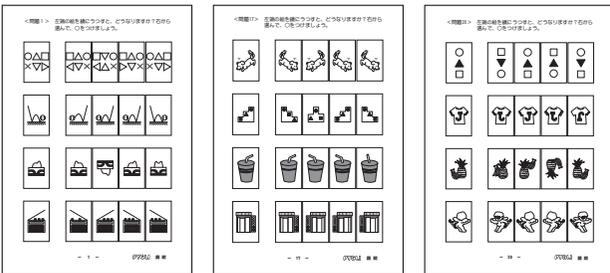
さまざまな図形を合成し、分解します。この種の問題を解答するために重要な図形分解能力や構成把握能力を育てるには、紙の上だけで学習するのではなく、「マグ・プレート」「カモシカパズル」のような図形教具で遊ぶことが必要になります。

34・35 絵の合成・分解①②



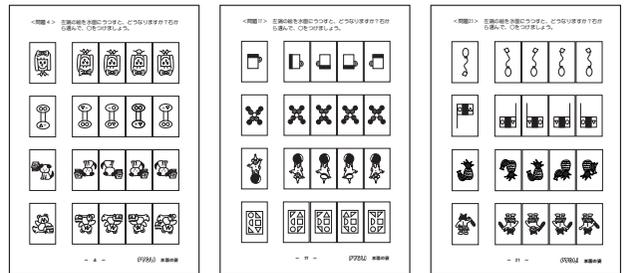
左の絵の欠けている部分を見つける問題です。この問題では、構成把握能力と思考力をチェックし、育てることができます。構成把握能力は、合成分解能力と表裏一体の関係にあり、数を認識する能力を左右するものでもあります。

36 鏡絵



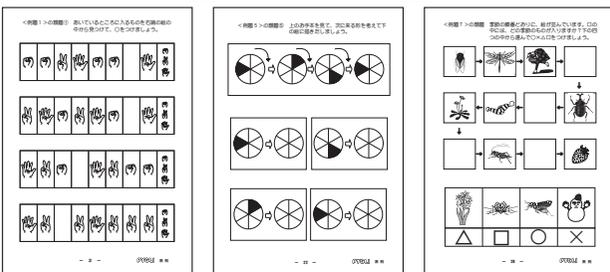
鏡絵は鏡に映った姿を理解するものですが、そのためには実際に絵や文字を鏡に映して体験させ、左右が逆転している姿や様子を理解できるようにしましょう。鏡絵を理解するために必要な空間把握能力は、思考力の基礎でもあります。

37 水面の姿



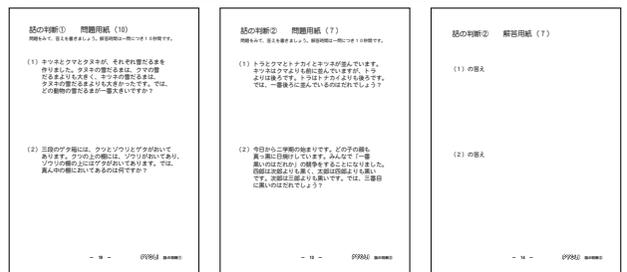
鏡絵が左右逆転の姿なのに対して、水面の姿は上下逆転の姿です。水面に映った姿の意味がわからないときは、実際に水面に物を映してみましょ。この問題に限らず、実感が伴わないことを説明してわからせようとしてはいけません。

38 系列



規則や法則を発見して解答する問題です。色々な形式の問題がありますが、解答するためには知識も必要ですし、質問の意味を理解することが大切です。法則性や規則性を見出すための思考力のレベルを鍛えましょう。

39・40 話の判断①②



話を聞いて解答する問題ですが、単純に暗記して記憶するような対処の仕方では対応できません。話の判断を解くにあたっては、暗記力ではなく、思考力・創造力などの問題解決能力が必要になります。